

(株)フクナガエンジニアリングとお客様をつなくコミュニケーション誌

FECO NEWS

フェコニュース

2013. Autumn vol.46

里山の風景 vol.6

秋の季語のひとつ「水澄む」。秋はものみな澄みわたる季節です。俳句歳時記には、空澄む・物の音澄む・清秋とあります。身も心も澄みわたるときに飛び込んでくるものは？それは、一人ひとりにとって大事なものかも。



世界遺産とその環境を守る取り組み

日本の象徴である国内最高峰の富士山が2013年6月にユネスコの世界文化遺産に登録されました。正式名称は「富士山―信仰の対象と芸術の源泉」。富士山を駿河湾越しに臨む

三保松原の文化的価値も認められ一括登録されました。

世界には数多くの世界遺産があり、フクナガと関わりの深いスリランカにも八つの世界遺産があります。そこで、今回は世界遺産とその環境を守る取り組みをフクナガ社員へのインタビューを通じて探ってみることにしました。

世界遺産とは

世界遺産とは、地球の生成と人類の歴史によって生み出され、過去から現在へと引き継がれてきたかけがえない宝物です。現在を生きる世界中の人類が過去から引き続き、未来へと伝えていかなければならない人類共通の遺産です。

世界遺産は、1972年の第17回 UNESCO総会で採択された世界遺産条約(正式には『世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約』)の中で定義されています。2012年7月現在、世界遺産は962件(文化遺産745件、自然遺産188件、複合遺産29件)、条約締約国は189カ国です。(公益社団法人日本ユネスコ協会連盟HPより)

富士山とその環境について

回答者:宮本 かなえ



富士山

Q 富士山へ行ったことがありますか？

昨年、友人に誘われて行きました。

Q 富士山の環境について、行ってみて感じたことはありますか？

私が登った道はあまり人がいなかったためか、ごみが落ちていないというところはありました。どちらかというと、ごみはみなさん持ち帰られていて意識が高いなというイメージでした。

Q 聞いたことのある世界遺産(富士山)の環境を守る取組や活動について、教えてください。

野口健さんが環境保全活動としてごみを回収されていること。富士山のトイレがバイオトイレになっていること。

Q あなた自身はどのようにしたら、世界遺産周辺の環境を守ることができますか？

注意を喚起する看板も世界遺産の景観を損なわせないと思います。そのため、ひとりひとりの環境意識を高めることが一番の方法だと思います。また、ポイ捨てなどをしている人に対して注意できる勇気があれば、かなり大きな環境を守る力になるのではないのでしょうか。

スリランカの世界遺産とその環境について

回答者:ナヤナベレラ

Q スリランカにはどのような世界遺産がありますか？

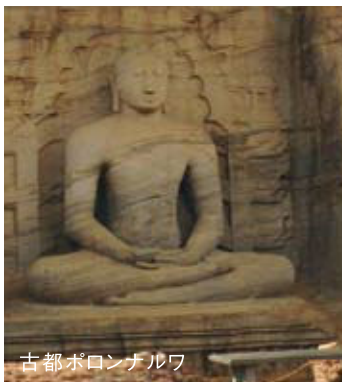
文化遺産

●聖地アマラダプラ(1982年登録)



古都ンギリア





古都ポロンナルワ

全てが自然の中で良い環境ですが、もう少し管理などに力を入れてもらえたらと思いました。例えば、世界遺産の敷地内及びその周辺環境が整っていないかったり、清潔さに欠けていたり、看板や説明書

Q その場所の環境について、行ってみて感じたことは何がありますか？

私は、シンハラジャ森林保護区以外スリランカの全ての世界遺産に行ったことがありますが、中でも古都シギリヤのシギリヤロックがお薦めです。大きな岩の上に造られた王国なので、とても不思議な感じがあります。

- 古都ポロンナルワ（1982年登録）
 - 古都シギリヤ（1982年登録）
 - 聖地キャンブー（1988年登録）
 - ゴール旧市街とその要塞群（1988年登録）
 - ダンブッラの黄金寺院（1991年登録）
- 自然遺産**
- シンハラジャ森林保護区（1988年登録）
 - スリランカの中央高地（2010年登録）



古都シギリヤ

きがなかったり、せっかく海外やスリランカ国内の遠いところからお客様が来るので、もう少し改善してほしいと思います。

Q 聞いたことのある世界遺産の環境を守る取組や活動について、教えてください。

シギリヤ、ポロンナルワは（世界遺産周辺）国の考古学省に守られています。世界遺産地区にある木を切る時、建物を建てる時には必ず考古学省の許可を得なければなりません。

Q あなた自身はどのようなことから、世界遺産周辺の環境を守ることができていると思いますか？

一番簡単にできることは、ゴミをポイ捨てしないことだと思います。



日光東照宮

環境と世界遺産などの観光地というのは、深い関わりがあると思います。エコツーリズムという言葉があります。エコツーリズムのような豊かな自然環境を持つ地域に訪問する際は、そのひとりひとりが次の世代にこの景色や歴史を残していくという意識が必要だと思っています。

皆様の周りの地域では、世界遺産や観光地の環境を守るために、どのような取り組みがなされているでしょうか？

※環境大臣を議長とした「エコツーリズム推進会議」（平成15年～平成16年）ではエコツーリズムの概念を「自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のありかた」としました。（環境省ホームページ <http://www.env.go.jp/nature/ecotourism/ty-ecotourism/about/index.html> 抜粋）

びっくりレポート in スリランカ by 松田



スリランカへは初めて行きましたが、日本人にとってあまり馴染みのないスリランカでは驚くことばかりでした。一番びっくりしたことは交通の面でした。今回車の移動が多かったのですが、三輪車がそれはもうたくさん走っていました。三輪車と言えばタイのトゥクトゥクが有名ですが、スリランカではバジャージと言われているそうです。また、みんな急いでいるのか運転がせっちな印象も受け、国民性というのは面白いなと思いました。



スリランカ



フクナガで働くスタッフをクローズアップ! フクナガの愉快的仲間たち

タイヤ事業部

岩崎 元哉 (イワサキ モトヤ)

●自分の性格をひとことで言うとは?

真実一路。

●現在のマイブームは?

旅行(夢は車で北海道一周です。もちろん北海道までも車で走ろうと考えています!!!)

●仕事にかける意気込みをひとこと。

やるからには徹底的に。



先輩社員からの一言

タイヤ事業部

小林 誠 (コバヤシ マコト)

「より良い現場にするために、いっしょにガンバっていきましょう!」



プルタブ・アルミ缶を集めて車イスを贈ろう!

vol.6

★参加できる方法が増えました!!

プルタブ・アルミ缶を集めて参加いただいている「みんなであつめる福祉にひろがる会」。

当会にご参加いただく方法が増えました。

7/25より、当社ソフトバッグ事業部のHP「ふくろ屋ふくなが」のネット会員様で商品をお買い上げいただいた方には【ふくふくハートチケット】ポイントシールをお送りしています。

★ポイントシールを貯めて、賞品と交換できます。

ポイントの特典の1つに、「みんなであつめる福祉にひろがる会」のポイントに交換できるものがあります。お買い物をして、ボランティアに参加できます!

みなさんの気持ちを集めて車イスを寄付できるといいですね!

詳しくは、お電話でお問い合わせください。
(ソフトバッグ事業部 原田 Tel: 06-6969-3632)



クイズコーナー & コメント募集!!

前号より始めましたクイズコーナーにたくさんのご応募をありがとうございました。(答えは、地球のための1時間でした。)

応募総数は33件で、そのうち31件が正解でした。今回のクイズは世界遺産にちなんでつくりました。奮ってご応募ください。お待ちしております。

ちょっと物知りクイズ

Q: ナヤナお勧めの、スリランカの世界遺産のひとつ、古都シギリアは文化遺産でしょうか、自然遺産でしょうか。

A: 文化遺産、自然遺産、どちらか正しい方をお書きください。

たくさんの応援メッセージをありがとうございます。これからも社会にとって貢献ができるフクナガを発信できるように紙面の充実を図って行きます。

- ・自分達の生活に皆さまの知恵を取り入れていきたいと思います。
- ・いろんな国の方が働いておられグローバルですね。
- ・継続してください。お願いします。
- ・毎回温かみのある紙面構成でホッとさせられます。これからもがんばってください。

- ・とても良い事を行っていると感じました。家庭でプリントしたものを基に色々話し、時間を忘れ非常に盛り上がりました。夜電気をつけっぱなしで遅くまで盛り上がるのは非節電ではないかとの意見で、今度の日曜に再度公園の涼しい木陰で話し合う事となりました。地球のために、人のために、何かを決め、暑さを忘れることを見つきたいです。
- ・おもしろいマガジンを発刊しているんですね。
- ・クイズ再開おめでとうございます。これからも楽しみにしています。間もなく梅雨が明け暑い夏がやってきますが、お体に気をつけて頑張ってください。

抽選で
正解者20名様にクオカード
500円分をプレゼント。
発表は発送をもってかえさせていただきます。



応募先メールアドレス

feconews@ecosoft.co.jp

FAX: 06-6969-3633

締め切り:2013年10月18日

QRコード



編集後記

今回初めて出張に行かせてもらい、いっぱい失敗もして、たくさんの方とお会いできてとても良い経験をさせて頂きました。出張中は元気だったのに、出張が終わって自宅に帰るとほっとしたんでしょうか、高熱が出てしまい何かに感染したんじゃないかと心配になりました。2,3日で治りましたが、体が丈夫であることが取り柄だったので少し落ち込んでいます。でもこれで免疫がついたんじゃないかと期待しています。



山田 紗和
(まつだ さわ)

※省エネ・省資源にともない、私たちはフェコニュースをPDF版にて配布しております。ご賛同いただける方は、アンケート用紙にメールアドレスをご記入ください。次回よりメールでお送りいたします。ご協力のほど、よろしく願い申し上げます。



発行元: 株式会社フクナガエンジニアリング
〒536-0014 大阪府大阪市東区鴨野西5-13-30
tel: 06-6969-7657
fax: 06-6969-3633
e-mail: feconews@ecosoft.co.jp
URL: http://www.ecosoft.co.jp

